



2024年度 **2月号**

### 防災を考える

先日、テレビでは『阪神・淡路大震災から30年』をテーマとしたニュースや特番が各局で流れていました。

1995年1月17日に起きたこの震災、そして昨年のお正月に発生した能登半島の震災。3.11の東日本大震災も含めて、このところ、数年おきに大きな地震が日本のどこかで起きています。

以前のいっぽ通信のコラムでも「福祉避難所」のことを書きましたが、平時のうちから災害時に取るべき行動を考え、情報を集め、家族や近隣住民の方たちと災害が起きた時のこと、避難のことなど、少し話合ったり共有したりしておくことが大切です。

いっぽでは毎月1回、避難訓練を実施しています。と言ってもそんなに大掛かりなものではなく、「館内放送を合図に、駐車場や園庭までクラスごとにまとまって行く」だけ。時間にして3分ほどです。ただこれだけのことですが、訓練したかしなかったかで、実際に地震や火事が起きた時の行動はだいぶ違うのだと思います。

子どもたちにとっては、いつものクラス活動の途中で急に防災頭巾を被らされ、みんなでぞろぞろと外に行く、なんとも(?)な出来事です。でも、こうした訓練を経験しておくことで、実際にいつ起こるか分からない災害が起きた時に、「ひとまずみんなで集まる・外に出る」という動きに少しでも抵抗なく応じることができるようになります。

野球選手やサッカー選手は、いつあるかわからない、もしかしたらないかもしれないビッグプレーを成功させるために何度も何度も繰り返しその場面の練習をします。それと同じです。起きない方がいいけど、万が一起きてしまった時に「こうだったかな?」と冷静に行動に移れるよう、私たちも練習が必要なのです。

日本では9月1日が防災の日です。100年以上前の関東大震災が起きた日ですが、現代では、阪神・淡路や東日本、能登半島の震災の方がより身近です。

こうした機会に災害のこと、防災対策のことなど、改めて考えてみましょう。(南湖)



児童発達支援センターいっぽ  
Tel:042-851-2860 / Fax:042-851-2861  
E-MAIL jidou\_ippo@tomoni.or.jp  
HP



### お知らせ・お願い

#### ①受給者証について

受給者証が更新され、新しいものが届いた際は、いっぽまでお持ちくださいますよう、ご協力をお願いいたします。

#### ②行事について(毎日クラスのみ)

今年度の活動も残り少なくなってきました。毎日クラスの今後の行事についてお知らせいたします。

○節分遊び...2月3日(月)

○卒園式...3月29日(土)

※卒園式の詳細につきましては、後日お便りを配布させていただきます。

#### ③保護者向けアンケートのお願い

今年度も残り僅かとなりましたが、皆様をご利用された中でのお気づきの点、ご意見等をお聞きする保護者向けのアンケートを配布しています。次年度以降のより良いサービス提供に繋げていきたいと考えております。

大変お手数ですが、アンケートにご記入の上、2月7日(金)までに職員へご提出ください。ご協力をお願いいたします。



・2月17日(月)…引き落とし日  
12月分利用料金、12月分給食費等実費分



・2月26日(水)…再引き落とし日  
17日に引き落とせなかった方





# 土曜プログラム

## ～トランスミュージック～



1月11日（土）に親子プログラムのトランスミュージックを開催しました。  
初めて見る楽器に子ども達は興味津々！触って音を鳴らして色んな音で賑やかでした。講師の方と一緒に演奏したり、出し物を見ながら親子でからだを動かしたり手拍子をしたりと楽しい時間を過ごしました。

次回は2月8日（土）に親子プログラムのムーブメントを行います。今年度最後の親子プログラムになります。



### 2月の予定

#### <全クラス共通>

- 8日（土）…親子プログラム（ムーブメント）
- 11日（火）…お休み（祝・建国記念の日）
- 20日（木）…避難訓練
- 24日（火）…お休み（祝・振替休日）

#### <毎日クラスのみ>

- 3日（月）…節分遊び
- 17日（月）…保護者登園日・誕生日会
- 25日（火）…身体測定

### 《家庭で嘔吐した時の対処方法》

この時期、感染性胃腸炎が流行しやすいので、お子様がお家で吐いてしまうこともあるかと思います。嘔吐物の処理・消毒の方法について紹介したいと思います。

準備するもの・・・使い捨てのビニール手袋・マスク・新聞紙やペーパータオル・ゴミ袋・エプロン・バケツ・家庭用塩素系漂白剤（キッチンハイターなど以下ハイター）（床の消毒液の一例：500mlの水にハイターを50cc（キャップ約2杯）入れ、よく混ぜる。）

#### 処理・消毒方法の一例（1mの高さから嘔吐した場合、半径2m程度まで飛び散ります）

- ①窓をあけるなど換気をし、嘔吐物付近に人が近づかないようにします。処理をする人は使い捨て手袋とマスク、エプロンを着用します。（ご家庭に使い捨てエプロンがない場合は、処理後に更衣しましょう）
- ②嘔吐物が付着していた床とその周囲を、消毒液を染み込ませた布やペーパータオル等で覆うか、浸すように拭きます。
- ③嘔吐物は使い捨ての布やペーパータオル等で外側から内側に向けて、拭き取り面を折り込みながら静かに拭き取ります。（手や膝、足底の汚染に注意しましょう）
- ④使用したそうきんなどの布やペーパータオル等はすぐにゴミ袋に入れ処分します。⑤処理後は手袋をはずして手洗いをします。



《衣類の消毒》①嘔吐物をたらいなどでよく洗い落とす。②2.5Lにハイター50cc用意し洗う。③高温乾燥も殺菌効果あり。アイロンがけはさらによい。

★じゅうたんや布団など洗えないものは・・・嘔吐物をできる限り拭き取り、嘔吐物の付着した部分に霧吹きをして、アイロンで加熱。さらにアイロンを少し浮かせた状態で1分以上スチームをあてると効果的です。

消毒に使ったバケツなどは、すべて消毒液で消毒しておきましょう。処理後の手洗いとうがいも忘れずに！  
いざという時にあわてないよう、必要物品はまとめておき、複数セット準備しておくとういでしょう。